



NPO法人

昆虫食普及ネットワーク



コンフネット ニュースレター 第14号

Vol.14 2023.8.01

獣医学と昆虫

坂本倫次

(獣医師・獣医学博士)

あまり世間的には知られていませんが、実は、獣医師は昆虫の病気も対象にしています。

獣医師法第1条には「獣医師の任務」として以下の条文があります。

「獣医師は、飼育動物に関する診療及び保健衛生の指導その他の獣医事をつかさどることによって、動物に関する保健衛生の向上及び畜産業の発達を図り、あわせて公衆衛生の向上に寄与するものとする。」

一般的に、獣医師は犬・猫や牛・馬などの「動物のお医者さん」のイメージが強いです。ですが、獣医師がカバーする範囲はもっと広く、人類（ヒト、ホモサピエンス）以外のすべての生物が対象と言っても過言ではありません。

犬・猫・ハムスター・亀・カエル・文鳥などのペットや、牛・馬・豚・鶏などの産業動物（いわゆる家畜や家禽）はもちろんのこと、実験動物（マウス・ラット・ウサギ・モルモットなど）、さらには野生動物や魚類までが守備範囲なのです。そして、今回のメインテーマである昆虫までもが対象に入ります。

さて、突然ですが、皆さんは「家畜化された昆虫」って御存知ですか？

人間の手で品種改良され、繁殖も完全にコントロールされた昆虫です。「えっ、家畜のような昆虫っているの？」との声が聞こえてきそうですが、答えはもちろんイエス。「家畜化された昆虫」とは、何を隠そうミツ

バチやカイコのことなのです。ミツバチもカイコも人間の手で品種改良され、繁殖も完全にコントロールされた生物ですから、まさに犬・猫・牛・馬・豚・鶏と同じような「家畜」に該当します。

最近では東京・銀座など都会でも飼育されているミツバチですが、恐ろしい特有の病気があります。特に、伝染性の病気が発生してしまうと、広範囲に病気が拡がり養蜂業に壊滅的な被害を及ぼしてしまっています。ちょうど、鳥インフルエンザや口蹄疫のように、です。そんなミツバチの非常時こそ獣医師の出番。家畜伝染病予防法ではチョーク病、バロア病、ノゼマ病、アカリングニ症などミツバチの病気が指定されており、獣医師業務の一環としてミツバチの病気の診断や衛生指導を実施しています。

次の「家畜化された昆虫」はカイコ。絹を作り出す、あの「お蚕様」です。残念ながら前述の家畜伝染病予防法にはカイコの病気が含まれていませんので、獣医学では学ぶ機会がありませんが、獣医師は別の側面からカイコに深く関わっています。

カイコを飼育して生糸を生産する養蚕業は、かつて明治日本の殖産興業を支えた、歴史的にも重要な昆虫利用産業でした。2014年に世界遺産登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」も、こんなお蚕様のおかげです。実は、カイコの品種改良や遺伝子レベルでの研究は、牛や豚など家畜以上に進歩しています。それも驚くくらい。その目的は、本来は良質の絹を多く作ることでしたが、現在では、医薬品やワクチンの生物工場としてカイコを利用するため。実は、ここにも獣医師が研究者として深く関わっています。興味は尽きないところですが、文字数の都合で詳細はまたの機会にでも。

獣医学と昆虫。意外な組み合わせほど、意外な面白さに溢れています。

【お勧めの一品】



カイコ蛹入り こしね汁

近代日本の発展を支えてくれたカイコを、富岡製糸場の地元でも食べられている郷土料理にアレンジしてみました。こしね汁は群馬県名産のこんにゃく・しいたけ・ねぎを必ず入れるのがルールで、他の具材や味付けは自由だそうです。今回は大根・人参・カイコ蛹を加え、醤油味の汁物にしました。味と食感に変化をつけるため、カイコ蛹は別に炒めて醤油と七味とうがらして濃いめの味付けをしたものを後から加えました。新鮮なカイコ蛹はくせもなく豆のような風味で、たっぷりの野菜と一緒においしく食べられます。

(樋口素子)

【活動報告】

7月8日(土) 米サ71

今回は「昆虫和食・群馬県編『お前はまだカイコを知らない』」と題して開催されました。昆虫食の素材としては比較的ポピュラーなカイコですが、市販品は鮮度や加工法のせいでしょうか、評価はいまひとつ。しかし今回はカイコを愛してやまないレシピ担当者によって厳選されたカイコを提供、「カイコってこんなにおいしいんだ」と称賛の嵐。メニューは「カイコとハチノコの巻きずし」「カイコ入りこしね汁」(「お勧めの一品」で紹介されています)、「お好みモナカ昆虫ミックス」で、参加者の皆さんにも巻きずし作り等楽しんでいただけたと思います。

(小貫浩一)

7月16日(日) スカイツリー①



食文化としての昆虫食—日本と世界でどんな昆虫が食べられてきたか—

7月22日(土) スカイツリー②



新しい昆虫食—FAO 報告〈2013年〉以降の新しい昆虫食の広がり—

7月23日(日) スカイツリー③



日本を支えた昆虫カイコ—着て、塗って、食べて、三刀流カイコの魅力

7月29日(土) スカイツリー④



身近な美味しい昆虫(1) セミ

【活動予定】

8月6日(日) スカイツリー⑤

「身近な美味しい昆虫(2) ハチ」

8月13日(日) スカイツリー⑥

「昆虫食の未来—今後の昆虫食のあるべき姿を提案」

米とサーカス渋谷 PARCO 店



・8月19日(土)
①11:00-、②13:45-
☆昆虫クッキング

<https://kometocircus0819.peatix.com/>



・8月20日(日)
11:00-
☆昆虫×食×理科実験
ワークショップ

<https://kometocircus0820.peatix.com/>

【編集後記】

各イベントには大勢のちびっこが参加してくれています。先日開催されたスカイツリーの昆虫イベントも、クワガタやカブトムシを実際に触れるコーナーが一番人気でした。リアルに触れる事で、生命の尊さを感じるのかもしれませんが。(須賀亮二)